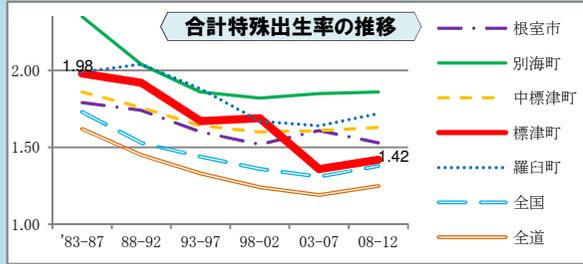


赤枠はH30から新規または拡充した事業

結婚・子育ての政策

【若い世代の結婚や出産等の理想・希望を叶える】

- ①結婚活動の応援強化
 - ・専門職員の配置、関係団体との連携強化による出会いの場の提供ほか
- ②あんしん出産の支援
 - ・道路通行止め情報の提供や、妊婦健診や出産に係る交通費、宿泊費の一部を支給
- ③出産祝い金の給付
 - ・第1子5万円、第2子10万円、第3子以降50万円を給付
- ④幼保連携型こども園を活用した子育て支援
 - ・保育園・幼稚園・親子交流館・母子通園センターの機能を集約した「こども園」を活用し、子育て支援を推進
- ⑤こども園の使用料等の無料化または負担軽減
 - ・3歳以上は無料化、3歳未満は国基準の1/4に減額し、保護者負担を軽減
- ⑥未来を担う児童・生徒の交流推進
 - ・児童・生徒間や、他自治体の児童・生徒との交流促進により、キャリア学習を推進
- ⑦小、中学生の学習教材費の助成
 - ・資料や実験材料等に係る保護者負担分を助成
 - ・小学生5,800円/年、中学生11,200円/年
- ⑧高校生までの医療費助成
 - ・中学生までの医療費無料化（平26開始）
 - ・平27から対象を高校生までに拡大
- ⑨標準高校での学びの支援
 - ・教科書・制服代相当5万円支給、町内外バス通学費全額助成、国公立大学入学金相当30万円支給、医療費無料の町外通学者対象、修学旅行費の支援ほか



定住・移住・暮らしの政策

【このまちで暮らしたい、暮らし続けたい希望を叶える】

- ⑩住宅取得助成
 - ・住宅新築 最高300万円を助成
 - ・中古取得 最高100万円を助成
- ⑪住宅リフォーム助成
 - ・最高50万円を助成
 - ・町内業者の施工に限定
- ⑫住まい・暮らしの資源の利活用
 - ・空き家や遊休施設等の資源を利活用
 - ・建築や福祉、防災、移住等の政策間連携を図る
- ⑬あんしんサポートセンターによる地域での支えあい
 - ・高齢者の日常生活での困りごとに対し、地域での支えあいの輪を広げる活動を推進
- ⑭高齢者福祉施設利用者の負担軽減
 - ・グループホーム等の利用者の負担軽減のため、家賃等の一部を助成
- ⑮介護予防事業の推進
 - ・高齢者が健康で生きがいをもって暮らす地域づくりを図るため、「いきいき百歳体操」等を実践
- ⑯しべつ健康ポイント事業の推進
 - ・「健康ポイント事業」により、健診や運動事業への参加を促し、全町的な健康増進を図る

- ⑰若者健診・保健指導の推進
 - ・16～39歳を対象に健診・健康指導を実施するほか、小中学生の生活習慣病予防検診を実施

- ⑱医療技術者等の確保
 - ・町で勤務する医療技術者等を養成・確保するため、修学資金及び就業支援金の貸付制度を創設

- ⑲地域防災計画による防災・減災対策
 - ・避難路や防雪柵の整備のほか、災害予測、情報発信、防災教育などにより災害に強いまちづくりを推進

- ⑳開かれた行政の推進
 - ・子育て世代、高齢世代や女性や青年の声を聴く体制づくりを推進

- ㉑ふるさとの未来を担うリーダーづくり
 - ・しべつ未来塾でのリーダー育成及び若者と町内外関係団体との連携・ネットワークづくり

産業・経済の政策

【生産基盤を高め、地域資源を活かし、人の流れを変える】

- ㉒新しい農業経営者づくり
 - ・就農予定者研修支援
 - ・就農体験者受入れ強化
- ㉓農業協業法人の支援
 - ・TMRセンターの設置を支援
 - ・複数戸による農業法人の設立を支援
- ㉔水産資源対策の強化
 - ・沿岸餌料等環境調査の実施
 - ・ナマコ種苗放流事業の推進
 - ・ホッカイシマエビ資源管理調査など
- ㉕標準ブランドづくり
 - ・ブランドづくり事業の推進
 - ・製品開発、販売促進の強化
- ㉖標準川的环境保全等
 - ・標準川の環境保全対策の強化
 - ・標準川の水深確保の要請
- ㉗起業支援補助拡充
 - ・補助金上限 250→300万円
- ㉘再生可能エネルギーの活用等
 - ・エネルギーの有効活用
 - ・誘致財源の有効活用
- ㉙交流人口の拡大による地域の活性化
 - ・地域連携による都内物産展や大学との連携事業
 - ・体験交流の実践による地域経済の活性化
- ㉚情報発信の強化等
 - ・まちの情報発信力を強化
 - ・地域おこし協力隊による地域活力の創出

